

景観学習を実施しました！

都市計画課

都市計画課では、子どもたちが身近な景観を通じて地域の魅力や課題を発見する体験型学習「景観学習」を実施しています。

＜景観学習の内容＞

景観学習は、県内の小学生を対象に、身近な景観から地域の歴史や文化を理解しながら地域の魅力を感じ取る機会を提供することにより、①景観とは何かということについての理解を促し、②地域の景観をみんなの共有財産として大切に作る意識を高め、③地域に対する誇りや愛着心を育み、景観づくりの担い手として自ら考え行動できる人材を育成することを目標とした取組です。

都市計画課では景観の専門家を講師として派遣、デジタルカメラ等の備品の貸し出しをして、景観学習を実施しています。

＜景観学習の流れ（平成29年度実施 小学校3年生の例）＞

○1回目

- ・講師によるガイダンスを実施、「景観とは何か」や地域の景観の見方や感じ方についての授業
- ・実際に児童が学区内を歩き、「好きだな」「ちょっと嫌だな」「不思議だな」などの観点で写真を撮影



ガイダンス



まちあるき

感想 子どもたちの声

- ・いつも遊んだり通ったりしている所でも見方を変えれば、良い所や悪い所をたくさん見つけることができました。
- ・景観がきれいだとその地域に住んでいる人たちが気持ちよく生活できるのかなと思いました。

○2回目（1回目の1週間後）

- ・撮影した写真をもとに、テーマを決め、（好きな、不思議な、おもしろい景観等・・・）、なぜそのように思ったのか、タイトルを景観シートにとりまとめて発表。
- ・班毎に景観マップを作成



景観シートの作成



景観マップの作成